

# 1. 家族と社会のいきいきライフ科

## 【水曜日 授業予定表】 講師:藤本 繁夫、横井 孝治、長谷川 美津子 他

					午 前			午 後		
回	月	日	曜日	講座数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容	
1 学 期	4	4	日	①	①入 学 式 & オリエンテーション (合同、大阪国際会議場)					
		14	水	1	健康であることが活動の源①	身体と脳の健康	藤本繁夫(大阪市立大学名誉教授/医学博士)	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明		
	5	21	水	2	知っておきたい無理のない介護①	介護プランニングと事前準備	横井 孝治(脳コミュニケーション代表取締役)	自主活動	遠足について、班編成、役割分担について	
		12	水	3	傾聴の技法①	傾聴の意味と意義(計5回)	長谷川 美津子(吹田傾聴V)	合同オリエンテーション ■オンライン		
	6	19	水	4	傾聴の技法②	簡単なコミュニケーションの取り方、高齢者の心理	長谷川 美津子(吹田傾聴V)	自主活動	班編成、役割分担	
		26	水	②	②遠 足 (1)					
	7	2	水	5	傾聴の技法③	事例を使ったロールプレイ	長谷川 美津子(吹田傾聴V)	自主活動	グループ討議:今後活動の進め方	
		9	水	6	高齢者の健康をはかる!	フレイル・ロコモ・サルコペニア	佐々木八千代(大阪市立大学准教授/医学博士)	”	グループ討議:社会参加活動について	
	8	16	水	7	健康であることが活動の源②	ストレス病とその解消法	藤本繁夫(相愛大学教授/医学博士)	”	グループ討議:社会参加活動について	
		23	水	8	認知症とは	認知症は一日にしてならず	河越眞介(神戸健康大学)	”	手の凝り・顔の凝り、ツボの場所とその効用(by POLA)	
	9	7	水	9/③	弱者へのサポート①	サポートデザインとは	椎名 保友(日常生活支援センター)	⑥社会への参加活動「傾聴の技法」⑤(施設訪問)	長谷川 美津子(吹田傾聴V)	
		14	水	10	弱者へのサポート②	福祉制度からみる地域福祉	椎名 保友(日常生活支援センター)	自主活動	グループ討議:夏休みの研究課題の検討	
	10	21	水	11	急病への対応	応急手当・とっさの対応	櫻井 ひとみ(元大阪府看護協会)	”	(グループ討議:家族・社会に有用なサポート)	
		8				夏 休 み				
2 学 期	9	15	水	12	災害時の生活支援	被災者とのコミュニケーション	櫻井 ひとみ(元大阪府看護協会)	自主活動	グループ討議:自主(企画)講座の検討	
		22	水	13	知っておきたい無理のない介護②	介護者の心のケア	横井 孝治(脳コミュニケーション代表取締役)	”	自主(企画)講座の検討	
	10	29	水	14	弱者へのサポート③	移動制約者について	椎名 保友(日常生活支援センター)	”	ジョイフルゲーム・コーダイフェスタについて	
		6	水	15	笑い与健康を科学する	生活習慣病防止 & 笑いヨガ	大平 哲也(福島県立医科大学教授、医学博士)	”	ジョイフルゲーム・フェスタ(遠足)について	
	11	15	金	④	④コーダイジョイフルゲームズ (屋外でのジョイフルゲームズ。雨天中止)					
		20	水	16	弱者へのサポート④	車椅子への対応・実習	椎名 保友(日常生活支援センター)	自主活動	遠足、自主企画講座について	
	12	27	水	17	自 主 (企 画) 講 座					
		10	水	⑤	⑤遠 足 (2)・・・(仮日程;2学期の何れかの日に各科で遠足日を設定)					
	13	17	水	⑥	⑥コーダイフェスタ (曜日別の実施)					
		24	水	18	弱者へのサポート⑤	まちなか実践	椎名 保友(日常生活支援センター)	(19) 助け上手に助けられ上手	上野 加代子(同志社大学名誉教授) 調整中	
14	1	水	20	正しい服薬をデザインする	服薬・薬量の最適デザイン	石崎 真紀子(兵庫医療大学)	自主活動	(グループ討議:終了後の社会活動の場の検討)		
	8	水	21	カラーユニバーサルデザイン	色情報と色覚特性のデザイン	石崎 真紀子(兵庫医療大学)	”	(グループ討議:1年間の活動のまとめ&修学旅行)		
15	15	水	22	知っておきたい無理のない介護③	介護者の心のケア	横井 孝治(脳コミュニケーション代表取締役)	”	成果発表 準備		
					冬 休 み					
3 学 期	1	19	水	23	地域で支える在宅介護・在宅療法①	ボランティア活動と在宅支援	大阪府社会福祉協議会ボランティア市民活動C	”	(グループ討議:終了後の社会活動の場の検討)	
		26	水	⑦	⑦社会への参加活動・・・(仮日程;1学期~3学期の間に活動日を1回設定)					
	2	2	水	24	地域で支える在宅介護・在宅療法②		大阪府ボランティア連絡会	自主活動	成果発表 リハーサル	
		9	水	25	身の回りの基礎法律	後見人制度、権利擁護	大阪府社会福祉協議会 後見支援センター	”	(グループ討議:1年間の活動のまとめ&修学旅行)	
	3	16	水	26	学 習 成 果 発 表 会					
				⑧	⑧修了式					
36	2	水	⑨	⑨・⑩修学旅行(1泊2日)						
	3	木	⑩							
					授 業 (自主講座、成果発表会含む)	26(講座数数列数値の1~26)		自主活動	21	
					学 習 事 業 (①~⑩)	10(講座数数列数値の①~⑩)		★印は校外(教室不要)		
					合 計	36				

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。

2020.11.28a